

かんげんじょうせいかい か
管絃丈清会歌

石橋 令 邑 作詞
加羅古呂庵 一泉 作曲

管絃丈清会歌

「尺八丈清会歌」(1995年)は、歌に尺八3パートで伴奏する形式でしたが、鯉江丈山師のご依頼により、箏・十七絃を加え、尺八は2パートにして、「管絃丈清会歌」としました。作詞は、「高麗の春」などの詩を作られた石橋令邑氏です。

あおによし 奈良の都に 渡りきし
 もろこしの 笛 代ををへては
 普化尺八と 時をすぎ
 古今にわたる 日本の竹韻
 都山・茶山の 伝統の
 芸風うけし 丈山は
 竹道の標 かえりみて
 楽の基は 本曲と
 古曲・新曲・現代曲
 糸竹の道 きわめあい
 指南の灯 消ゆることなく
 会員の 結び和をもて いやかたく
 求道の波路 洋洋と
 丈清会の 邦楽ぞ
 国の内外に ひびきわたらん
 時をかぎらで ひびきわたらん

©1991 石橋令邑

(注) 縦譜(箏・十七絃譜)では、歌を箏(花雲調子)で記しています。縦譜では、他の楽器のパートを補助的に記載しています。ただし、複数のパートを集約し、オクターブも変えているところがあります。正確には、五線譜(スコア)をご参照ください。

加羅古呂庵ホームページ



歌(男声)
 尺八I
 尺八II
 箏I
 箏II
 十七絃

1尺8寸管
 1尺8寸管
 花雲調子
 花雲調子

口 ピ
 口 ピ
 三 五 七 九 斗 為 巾
 三 五 七 九 斗 為 巾
 二 三 五 七 九 1 3 5 7

運指、奏法については、適宜工夫していただけて幸いです。

管絃文清会歌

石橋 令邑 作詞
加羅古呂庵 一泉 作曲
2024. 8.12

♩ = 66

歌 (男声)

尺八 I

尺八 II

箏 I

箏 II

十七絃

in D

mf *f*

6

歌 (男声)

尺八 I

尺八 II

箏 I

箏 II

十七絃

mf

あおによし ならのみやこに

11

歌 (男声)

尺八 I

尺八 II

箏 I

箏 II

十七絃

わたりきし もろこしのふえ よをへては ふけしゃくはちと ときをすぎ

16

歌 (男声)

尺八 I

尺八 II

箏 I

箏 II

十七絃

f *mf* *poco a poco accel.*

ここんにわたる にほんのひびき

21 $\text{♩} = 72$

歌(男声) mf とざんさざんの でんとうの げいふう

尺八I

尺八II

箏I

箏II

十七絃

25

歌(男声) うけし じょうざん は ふるきを たざーね あたらしーく

尺八I

尺八II

箏I

箏II

十七絃

29

歌(男声) ちくどうのーしるべ かえりみて がくのもとい は ほんきよくと

尺八I

尺八II

箏I

箏II

十七絃

33

歌(男声) こきよくしんきよく げんだいきよく --- いとたけのみち きわめあい

尺八I

尺八II

箏I

箏II

十七絃

37 $\text{♩} = 66$

歌(男声) f
 しなんのあかり きゆることなく

尺八I f
poco rit.

尺八II f
poco rit.

箏I f
poco rit.

箏II f
poco rit.

十七絃 f
poco rit.

42

歌(男声) mf
 ともがらの むすびわをもて いやかたく

尺八I mf

尺八II mf

箏I mf

箏II mf

十七絃 mf

47

歌(男声) f
 ぐどうのなみじ ようようと じょうせいかいの ほうがくぞ くにのうちに

尺八I f

尺八II f

箏I f

箏II f

十七絃 f

52

歌(男声) f mf ff
 ひーびきわたらん ときをかぎらで ひーびきわたらん

尺八I f mf ff
rit.

尺八II f mf ff
rit.

箏I f mf ff
rit.

箏II f mf ff
rit.

十七絃 f mf ff
rit.